

『こころの言の葉』より

1年保護者

親心

暗くてせまい通学路

「前を見てふらふらせずに歩きなさい」

と言えば息子が苦笑い

「僕をいくつだと思ってるの、大丈夫」

いくつになっても心配なのよ、親なんだから

言いつつ私も苦笑い

少しずつ親の手をはなしていく

嬉しくも少しさびしい親心

手のひら

最近手のひらの大きさ比べを

よくするようになったね。

私の人差し指をぎゅっとにぎっていた手も

どんどん大きくなって、

あと数ミリで同じ大きさになるね。

初めて散髪屋さんに行った時、

ずっと手を握ってあげていないと

切れなかった日が懐かしいです。

手をつなぐことはなくなったけど、

車で送って降ろした時に

いつも手を振ってくれるのが

今のささやかな喜びです。

『こころの言の葉』より

1年保護者

「ありがとう」

思春期のあなたからは

なかなか聞けない言葉

でも、たまに照れくさそうな小さな声の

「ありがとう」

がとてもうれしくて今日も頑張れる母。

こんなうれしい気持ち

「ありがとう」

あなた

かわいいよ、声変わりしてきたその声も。

かわいいよ、今にも追いつきそうなその背丈も。

ヨチヨチ歩いて、トコトコ走って、

たくさん笑って、

たくさん泣いて、さあもう中学生。

そのビー玉のようなひとみから、

何が見える？

なにをみてる？

雨傘広げていつだって、

あなたが駆け込んできても

良いように、そんな心構えでいるからね。

時には、雨宿りしてたくさん泣いて、

たくさん笑って。

きっとそれが人生よ、ふふふ。

母より

『こころの言の葉』より

1年生

母のはげまし



「ここをもうちょっとがんばれたね。」

「でもここはクラスで正解した人少なかったんだよ。」

これはテスト返ってきたときに母としている

いつものやりとりだ。

本当は自分が勉強不足や問題をよく読んでいなくて

ケアレスミスをしたのは分かっていた。

ケアレスミスの言いわけをしている自分が情けなくて惨めだった。

でも母にはげましてほしくてテストを見せている。なぜなら

「がんばったね。」

と母がテストを見終わったときに言うこの言葉が聞きたいからだ。

この一言で魔法がかかったようにがんばれる。

いつも不器用な私をはげましてくれてありがとう。

母への本音

いつの間にか僕も気付かない所で大人になっていき、

小さい時は、何の話しても話していたのに、

いつの間にか本当は話したくても、

照れ臭いような強がる自分がいました。

でも、本当はよく喧嘩もするけど、

僕はお母さんでもあり、良い意味で親友のような

お母さんがとても頼りになり、

いつも僕の一番の味方だと思っています。

なかなかこういう本音をお母さんに言葉で伝える事は

難しいので、今こうして書いています。

僕の家はお母さんと、僕と弟の三人暮らしです。

だから、いつか立派な大人になって、早くお母さんを

安心させてあげたいと思います。

もう一つ目標を言えば、

いつか恩返しをしたいと思います。

『こころの言の葉』より

1年生

お父さんのお見送り

私には、毎日欠かさずしていることがあります。

それは、朝、お父さんが

「それじゃあ、行こうかな」

というとき、私が玄関へ行き、

「頑張ってるね。気をつけて行ってらっしゃい」

と言って車までお見送りをするからです。

私は、お父さんのお見送りを約八年間続けている中で

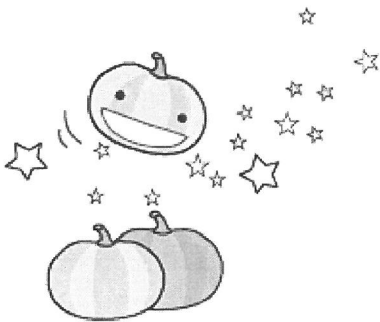
何度も、けんかをして本当は

「もう、お見送りなんかしたくない」

と思ったこともありました。

しかし今では、大学生になってもずっと続けていきたい、

と思っています。



ありがとう

私のお父さんは、本当にうざい。

めちゃくちゃしいし、

どこがうざいのか私自身も分からないが私は嫌いだ。

お父さんはいつも私の練習に付き合ってくれる。

その時も、うざいと思ってしまう。

だけど、私は、毎日練習に付き合ってくれるお父さんの

おかげで、よい結果が出せている。

よい結果を出せた時は、とてもうれしいし、

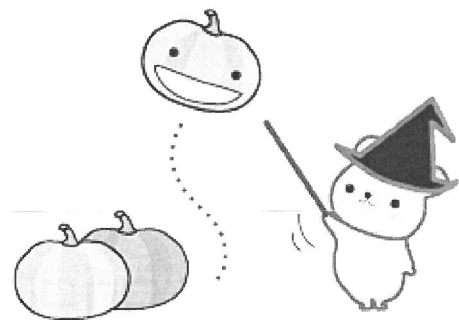
練習していてよかったと思う。

お父さんがいないと、練習もよい結果が出せない。

なかなかこの気持ちを素直に言えない。

お父さん、いつも素直になれなくてごめんね。

だけど、ちゃんと思ってるんだよ。



『こころの言の葉』より

2年保護者

日課

私の高校時代の話です。
母は新聞配達をしていました。夜中から仕事に行き、明け方に帰宅すると休む間もなく、私のお弁当を作っていました。そして玄関で握手をしていってらっしゃいと送り出してくれるのが日課でした。握手をすることで、私の心と体の健康状態をみていたのかもしれない。
『手当て』という言葉があるように、「手」には不思議な力があると思います。言葉でのコミュニケーションはもちろん大切ですが、触れる事もそれ以上に大切だと思います。

母からのラブレター

スマホの思い出写真が自動システムでランダムに上がってくるのですが、小さかったあなたがとても愛おしいです。今こうして隣に並ぶと、いつの間にか背を追い越し、たくましくなった姿に泣きそうになります。まだまださわがしく、うるさいなあと思う我が家ですが、すでに小さかったあの日が恋しいように今のこんな日々もそう感じる日が来ると思うと、毎日を楽しく、大事に過ごしたいなあと思うのです。

『こころの言の葉』より

2年保護者

ごちそうさま

「今日のごはん、何がいい？」

「何でもいい。」

「何食べたい？」

「何かなあ。」

はつきりとは言わないけれど、

メニューを伝えると

にっこりしたり、ちよつとがっかりしたり。

それでもいつも伝えてくれる

「ごちそうさま。」

その一言がともうれしくて、

元気が出ます。

成長している君へ

言わないようにしようと

いつも心に決めるのに、すぐ

「早くしなさい」

「勉強したの」

「いつまでそうしているの」

とつい言葉にして、

君の心にトゲを作ってしまう。

でも、君が頑張っている事を知っています。

自分の気持ちを伝えることが少し苦手な君

そして、少し強がりな君が、もっと君らしく

楽に呼吸して過ごしていけるように

見守っています。

君は確実に心も体も大きく成長しています。

今の君がここに存在していることに感謝です。

『こころの言の葉』より

2年生

怒っていますか

僕にとってあなたは、

いつも怒っている印象しかありません。

いつも僕にだけきびしすぎではありませんか。

毎日のように怒るため、

何事にもやる気を無くしてしまいます。

でも今、熱中して取り組めるものがあります。

それは陸上です。僕は走る事が大好きです。

だからといって大した結果は残せていません。

そんな僕でも、あなたに

「がんばったね」

「すごいね」

と言ってもらえるよう、毎日必死です。

だからお願いです。言葉は選んで送って下さい。

僕はあなたから言葉をもらうのを待っています。

いつもありがとうございます。



いつもありがとうございます

僕の父は単身赴任で種子島に一人で住んでいる。

そのため、母はいつも一人で家事、仕事、

僕たち兄弟の面倒を見てくれている。

僕は部活でソフトテニスをしていて、

ほぼ毎日、自主練の送迎をしてくれる。

そして、自主練から帰ったら、すぐに

おいしいご飯を作ってくれる。

母は朝早くに起きて僕たちの朝食を作って、

仕事に行き、仕事から帰ってきたら

休む間もなく家事をして、

僕の塾や自主練の送迎をしてご飯を作り、

夜遅くに寝る、という生活を毎日続けている。

僕なら絶対こんなことできない。

それなのに、僕は母の手伝いを全くしていない。

だから、この夏休みから毎日一個以上

進んでお手伝いしていきたいと思う。

そしていつもあまり言えていない

「ありがとう」

をしっかりと伝えたい。



『こころの言の葉』より

2年生

私の弟

小学五年生の私の弟。

この間、まとめテストで、

弟が二教科も百点をとってきた。

私は、小学校のまとめテストで

一気に2つも百点をとったことがなかった。

最近は反抗もするけれど、優しい弟。

でも、やっぱり負けると悔しい。

だから私は、こう思うことにした。

「弟が中学生になった時に勝てるように、

私は定期テストを頑張ろう。」

私の弟は、私の密かな未来のライバル。

わざわざ口にはしないけど

時々、台所から僕を呼ぶ声が聞こえる。父だ。

父は口下手である。しかし、台所に立つ父は多弁になる。

自分が子どもの頃、料理をした事も、手伝いをした事もなく、

料理が全くできないことを大人になってから後悔したそう。

「今時、男も料理ができた方がいい。

一人暮らしのときにも役に立つ」

と、言う。

僕と父が会話をするのは、この時だ。

そんな父が、

「部活に行く前に食べて行きなさい。」

と卵焼きを巻いてくれた。

ちよつと塩辛い。母に話すと、

「部活で汗をかくから、

熱中症にならないようになんじゃない？」

と言っていた。

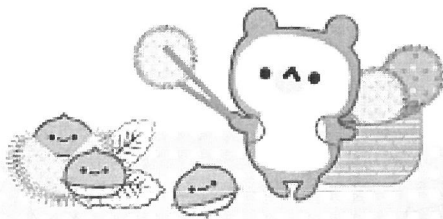
いつもは口下手な父だから、

その口下手の裏にまさかそんな考えがあったなんて、

思ってもみなかった。

あの塩辛さには、そんな気遣いがあったんだね。

ありがとう、お父さん。



『こころの言の葉』より

2年保護者

もつと話そう

「解除して」

携帯ばかり

触る君

話し相手は

ココにいますよ

子育ては 楽しい

子育ては 人数に関係なく大変、でも考え方によっては楽しくなる。

うちの家は、子供8人、周りからは

「大変ね」とか

「私には、無理」と思われたりするが、

8人いると8人それぞれ性格が違う。

だからおもしろいとも思うし、8人が一緒になると

いろいろ考えさせられる。

世の中では「虐待」する親がいるが、

子育てがすごい大変

苦しくなることもあるけど、私がいつも思うのは

子育てを楽しく出来る方法を見つけてほしい。

つらいことがあっても、

自分自身をほめてあげるようにしてほしい、

と思っています。

『こころの言の葉』より

2年保護者

いってらっしゃい

ドタバタ慌ただしく

玄関を飛び出した朝も

おしゃべりしながら

ゆっくりドアを開けた朝も

手を差し出すと 必ず

「行ってきます！」

と タッチしてくれる あなた

朝のルーティーン

私にとって大事な瞬間

今日も一日あなたにとって

あたたかい一日になりますように

いってらっしゃい！

中学生の君へ

気づいたらわたしよりも手も足も身長も大きくなり

気づいたら自分で考えて行動できるようになり

あんなに小さかった息子がいつの間にか心も体も成長し、

笑顔いっぱいの子に育ってくれました。

時には反抗したりケンカをしたり困らせたりするけれど

そんなあなたは大切な宝物です。

もう中学生なのに、ついついアドバイスをし過ぎてしまう母。

そろそろ見守ることも必要ですね。

これから大きな不安や悩みが出てくるでしょう。

困った時はいつでも相談に乗るからね。

ずっとずっと応援しています。

『こころの言の葉』より

3年保護者

一歩ずつ…

中学校生活最後の1年を迎えたあなた。

「もう子供じゃない。」

と言いながらも、

いざというとき、

「ママー」

と呼ぶ。

それがうれしかったり、うつとうしかったり…

ある時、

「ちゃんとわたし、考えてるから。」

の一言。

一歩ずつ大人への階段を上り始めたんだね。

だんだん手はなれても、

心だけはいつまでもつながっているよ。

親子のすれ違い

あなたが生まれて15年が経ち、小学六年生までは

親にべったりなあなたでしたが、中学に入学すると

勉強や部活動、友人との交流で

親から少しづつ離れていきましたね。

寂しいような気持ちもあるけど、

成長しているんだと思います。

親の言う事を素直に聴いていたけど、

思春期になると親子の言い合いになりましたね。

自分の気持ちをこれから主張して、

良い大人になってください。

いづれ、あなたも子供を産んで

同じ状況になるかもしれません。

その時は、相談にのるからね。

これからも宜しく願います。

『こころの言の葉』より

3年保護者

大切なとき

腕の中にいたあなたが

おおきなおおきな背中になって

家族の助けにもなり頼もしさ充分

将来も見えてきて

あと何年かな

一緒に過ごせる今を大事にしたい

ありがとう

いつの間にか身長も越され、
心も体も成長している息子。

思春期になり、

口数は少なくなってきたけれど、

優しいところは変わらず。

小さな頃からどんなときも、

小さなことでも

ありがとうをしっかりと伝えてくれる。

突然の病気に辛かった日々でも

変わらないありがとうをくれた息子。

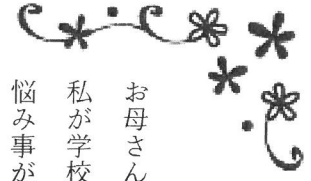
ありがとうの言葉は、元気になれたり

癒やしをくれたりすることを知りました。

いつもありがとう。

『こころの言の葉』より

3年生



お母さんってすごい。料理や洗濯、掃除まで私が学校に行っている間に、終わらせている。悩み事があると、すぐに見抜いてくれるし、学校行事があれば手紙を書いてくれる。うれしいけど、反抗期の私は、ちよつぱり恥ずかしい。そんなお母さんに私は、いっぱい謝らないといけない。いっぱい迷惑かけてごめん。言うこと聞かなくてごめん。夜、家出してごめん。心配かけてごめん。いっぱい傷つけてごめん。お母さんは、よく私に「○○が生まれてきたから、お母さんになれたんだよ。」と言うよね。私も、お母さんの子として生まれてきて良かったと思う。大好きだよ。



おかえり

私のお母さんは、私がお家に帰ってくるといつも「おかえり」と言ってくれます。あたりまえの事かも知れませんが私はこの言葉が好きです。学校で嫌なことがあった時も、この言葉を聞くと少し心が軽くなります。それは私の中で「おかえり」と言う言葉が自分の心をほぐす呪文のような役割だからかもしれません。「おかえり」や「いってらっしゃい」という言葉には人を元気にする不思議な力があると思います。私もお母さんに負けないように「ただいま」と言っていきたいです。



『こころの言の葉』より

3年生

支えてくれた感謝

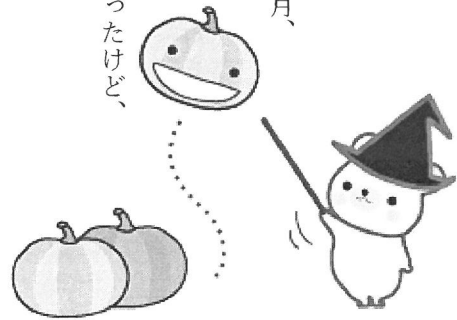
この中学生になってから約二年と三ヶ月、
支えてくれてありがとう。

僕は、中学に入ってから不安で、
しっかりやっていたいけるのか分からなかったけど、
毎日楽しく登校できてよかったです。
部活では特に迷惑をかけました。

休日や夏休み、朝早くから練習があるのに、
早起きして準備をさせてしまったことが少し後悔でした。

大会の時は特に五時起きで弁当などを作ったり、
会場まで来て応援してくれたり、送り迎えなど
大変な思いをさせたかもしれません。

しかし、そのおかげでとても頑張ることができました。
あと約十ヶ月もっと大変になるかもしれませんが、
僕も一生懸命頑張るので、応援や支えてくれると
とても力になるので宜しくお願いします。



正直・素直になれなくてごめんね

私は、最近お父さんとお母さんに対して、思ってもないことを
口に出して言ってしまう。

自分でも自覚はあるのに…本当にごめんね。

最近だと、勉強のことでガミガミ言われて、私は素直に

「はい、次から、今日からちゃんとする」

って言えばいいのに、

「はあ。だるっ」

「だから、するって言ってんじゃん」

って逆ギレして、気まぐれさせて人としてダメだなと思っていて、

お母さんとお父さんをより困らせて申し訳ないと思ってる。

今、受験生で悩み事とかストレスが多いのを二人は知ってくれていて、

寄り添ってくれているのに、耳を傾けなくてごめんね…

これからは、ちゃんと耳を傾けて、応答にも気をつけるからね。

本当にごめんね。

でも、私は、お母さんとお父さんのことは世界一大好きだよ！

